

## 「ラボテックEMCセンター(10m法電波暗室)」 がオープン!

当社の子会社であるフルノ・ラボテック・インターナショナル株式会社 (<http://www.furuno-labotech.co.jp/>) は、「ラボテックEMCセンター」内に新設した試験施設「10m法電波暗室\*」をオープンしました。同社は、複数の公的認証機関からISO/IEC 17025の認定を受けた試験施設として、各種安全規格に適合した製品づくりのサポートを行っています。「10m法電波暗室」の稼働に伴い、デジタル機器の増加とともに需要が高まりつつある電磁波計測試験の受託拡大に取り組んでおります。

※電波暗室：外部からの電磁波（ノイズ）を遮断し、内部の電磁波を吸収することで、特定の電子機器が発する電磁波を測定できる実験設備。



10m法電波暗室

### トピックス一覧

#### 2010年

10月 ●日本赤十字社より功労感謝状を受賞

12月 ●当社社員の神原直史が手漕ぎ自転車により日本一周・1万3,370kmを完走

#### 2011年

2月 ●次世代1チップGPS「eRideOPUS 5」を開発



eRideOPUS 5

表紙絵画：須磨はじめ

マリンギアライター。自ら描く著書の挿絵から水彩画の世界へ。プレジャーボートを素材にした作品が多い。

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	
定時株主総会	毎年2月末日
期末配当金	毎年2月末日
中間配当金	毎年8月31日
その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。	
公告の方法	電子公告 ( <a href="http://www.furuno.co.jp">http://www.furuno.co.jp</a> )
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。	
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第一部
証券コード	6814
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問合せ先)	☎ 0120-288-324

#### 単元(100株)未満株式の買取・買増、 配当金受取方法の指定などのお問い合わせ先

- 株主様の口座があるお取引の証券会社にお問い合わせください。
- 証券会社に口座がなく特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行 (☎ 0120-288-324) にお問い合わせください。

#### 「定時株主総会決議ご通知」に関するお知らせ

「第60回定時株主総会決議ご通知」のご案内につきましては、今回より書面による郵送をとりやめ、当社ウェブサイト (<http://www.furuno.co.jp>) への掲載に変更させていただいております。



**古野電気株式会社**  
<http://www.furuno.co.jp>

# 株主の皆様へ

## 第60期報告書

2010年3月1日～2011年2月28日

証券コード 6814



フォートローダーデイル (アメリカ・フロリダ)

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

このたび「東日本大震災」により被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を衷心よりお祈り申し上げます。

当社グループの被災状況につきましては、東北地方の八戸、石巻および気仙沼の3ヵ所の営業・サービス拠点において建物損壊などの被害を受けましたが、鋭意復旧作業を進めた結果、おかげさまで八戸は4月より、石巻および気仙沼は5月より、それぞれ業務を再開いたしております。

なお、当社グループは、被災地の復興への取り組みやお客さまのご要望に対し、全力で対応してまいり所存でございます。

さて、第60期連結会計年度（2010年3月1日から2011年2月28日まで）が終了いたしましたので、ここにその事業概況と今後の見通しについてご報告いたします。

## 販売拡大、生産効率の向上に積極的に取り組みました

当連結会計年度の世界経済は、総じて景気の回復基調が続きました。企業業況が堅調に推移し、雇用環境の改善が進む米国をはじめ、欧州、そしてアジアでも経済は回復から拡大基調へと向かっています。我が国も海外経済の回復を背景に輸出が持ち直すなど、緩やかな景気回復が続きました。

このような経済環境の中、当社グループの主要マーケットである船用電子機器の分野では、プレジャーボート市場で需要の回復が進みました。産業用電子機器分野では、GPSを搭載するカーナビゲーションシステムなどの市場が堅調に推移する反面、高速道路の料金割引制度の動向が影響し、ETC車載器の需要が減少しました。

当社グループは販売拡大や生産効率の向上などに積極的に取り組みましたが、商船市場向け船用電子機器やETC車載器を中心に売上が減少しました。一方で、経費削減への取り組みや為替損益の改善などから、利益は前年同期から改善しました。

## 先行き不透明な国内状況の中で販売拡大、事業領域の拡大を図ります

世界経済は、今後も回復基調で推移すると想定されます。しかし我が国は東日本大震災の影響がさまざまな形で顕在化すると予想されます。船用電子機器分野については、これまでの新造船に関する高水準の受注で相応の仕事量を確保しているものの、将来的には新造船需要の低迷の影響が見込まれます。そのため生産効率の改善を進め、収益力の向上を図るとともに、リプレース需要や新規制に対応した需要の取り込みを進めます。また、衛星通信事業など魅力ある商品やサービスを創出し、事業領域の拡大にも取り組んでいきます。

産業用電子機器分野では、カーナビゲーションシステムやセキュリティなど需要の拡大が期待される市場に向けて、高感度GPSモジュールを投入し、国内外での販売拡大を進めます。医療用機器関連では、生化学分析装置のコストダウンと販売体制の強化を進め、事業規模の拡張を図っていきます。

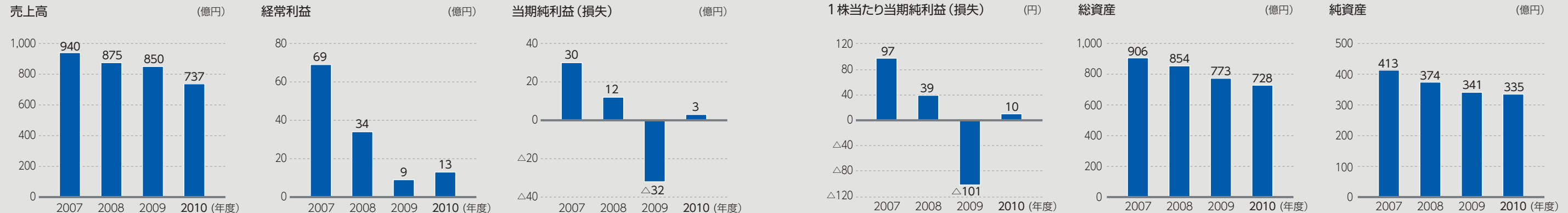
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2011年5月

代表取締役社長  
古野幸男



## 連結業績ハイライト





## 船用電子機器部門

587億1,400万円  
(前年同期比6.2%減)



ネットワーク対応航海電子機器「NavNet 3D」

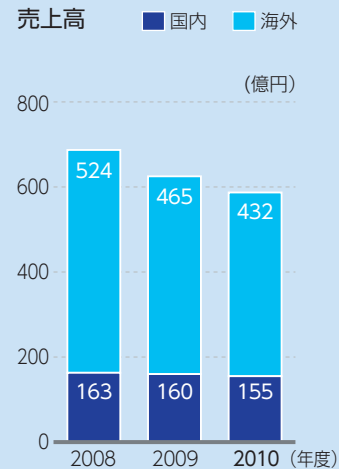
### 国内

●商船市場や漁業市場などで、売上が伸び悩みました。

### 海外

●プレジャーボート市場は、主要市場である北米および欧州で需要が回復したことにより、売上が増加しました。

●商船市場が低調に推移し、アジアや欧州などで売上が減少しました。



## 産業用電子機器部門

150億1,000万円  
(前年同期比33.2%減)

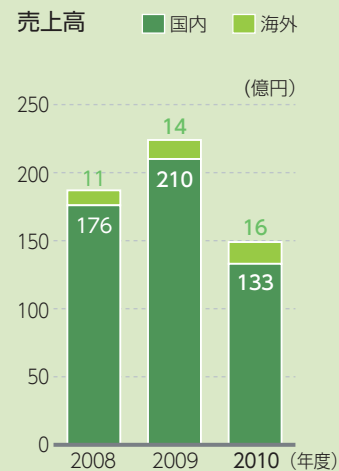


モバイル情報端末  
ハンディターミナル  
「finpad 700i」

### 国内

●高速道路の料金割引制度を背景とする特需が終息した影響で、ETC車載器の売上が大幅に減少しました。

●GPS関連機器および医療用機器も総じて販売が低調に推移し、売上が減少しました。



# 04 GPS 周波数発生器

高精度の時刻と周波数を発信。  
地上デジタル放送、WiMAXなど  
次世代通信の一翼を担っています。

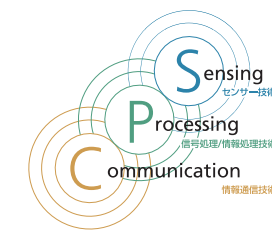
GPS周波数発生器は、無線通信や放送用の電波の基準を作り出すための装置です。独自の技術を駆使して開発した当社の周波数発生器は、GPS衛星から受信した時刻情報と、内蔵の発信機から得られる周波数を組み合わせ、世界基準とされる原子時計に匹敵する高い精度を実現、市場で圧倒的なシェアを誇っています。現在、全国の地上デジタル放送の親局や中継局、携帯電話の基地局に設置され、通信・放送インフラを支えています。さらに今後は、建設中の東京スカイツリーにも設置予定のほか、次世代の高速モバイル通信として脚光を浴びる「WiMAX」や、マルチメディア放送、海外などへの市場拡大が期待されています。



### GPS周波数発生器 GF-8048



GPS受信機と、ルビジウム発信機を搭載した地上デジタル放送用の周波数発生器。高性能かつコンパクトで、誤差を自動で修正できる機能も備えているため、東京スカイツリーのような大規模基幹局から小規模な中継局まで幅広くカバーしています。



「S・P・Cテクノロジー」  
Sensing Technology (センサー技術)、Processing Technology (信号処理/情報処理技術)、Communication Technology (情報通信技術)という古野電気の事業にとって不可欠な3つの技術。この頭文字をとって名づけた「S・P・Cテクノロジー」が古野電気のコアコンピタンスです。

# ETC車載器・DSRC車載器をより身近に、もっと便利に —くらしに広がるフルノのDSRC路側アンテナ装置\*—

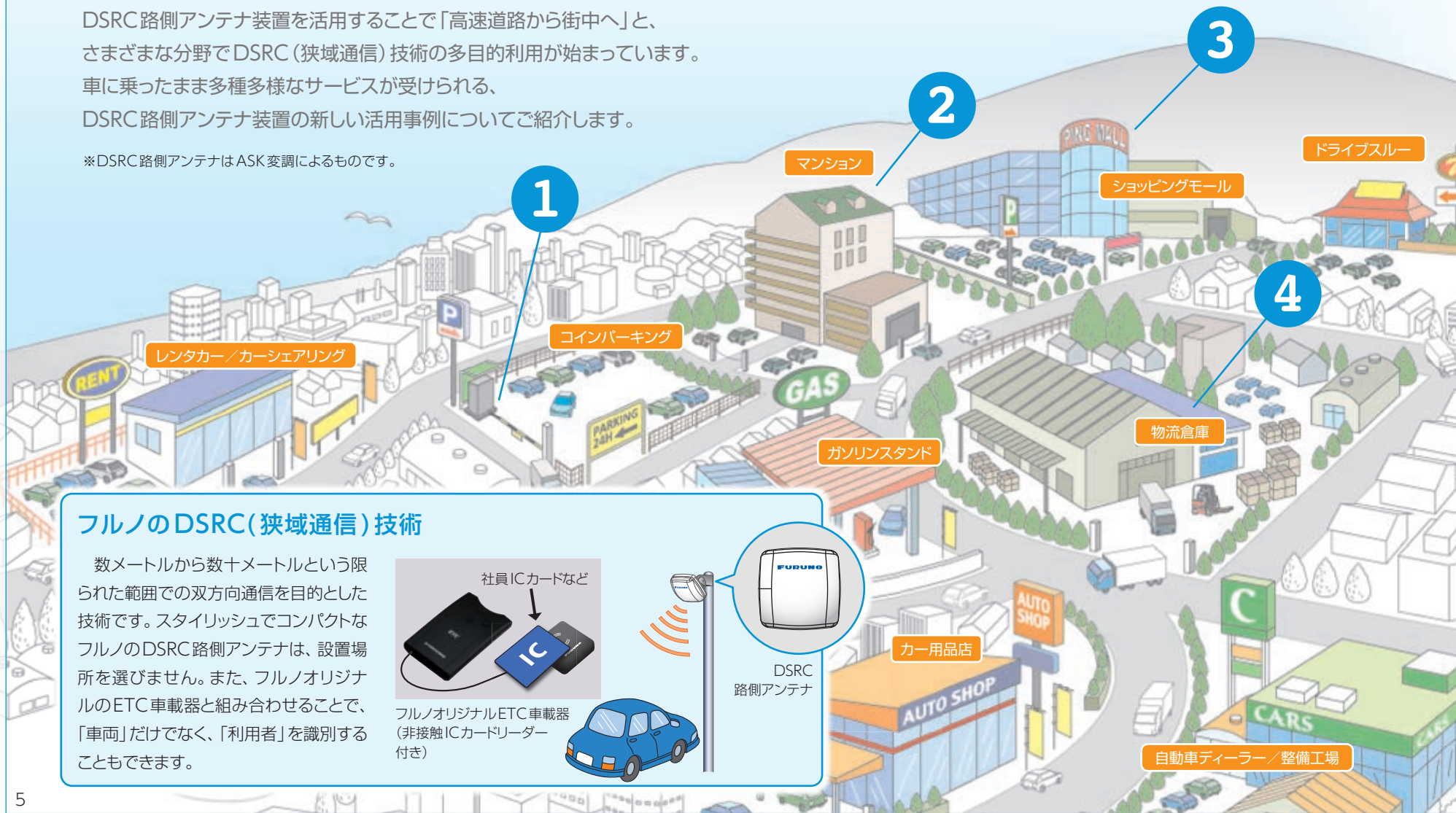
高速道路の料金所で、車を止めずに料金の精算ができるETC車載器・DSRC車載器。

DSRC路側アンテナ装置を活用することで「高速道路から街中へ」と、さまざまな分野でDSRC(狭域通信)技術の多目的利用が始まっています。

車に乗ったまま多種多様なサービスが受けられる、

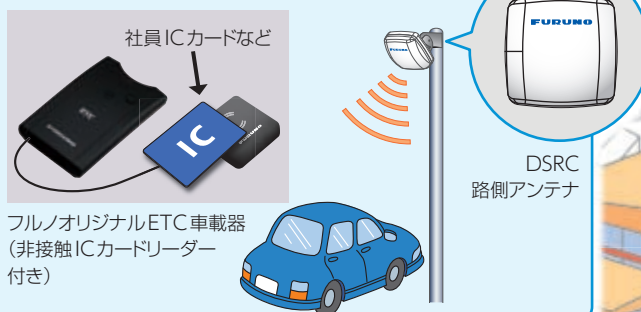
DSRC路側アンテナ装置の新しい活用事例についてご紹介します。

\*DSRC路側アンテナはASK変調によるものです。



## フルノのDSRC(狭域通信)技術

数メートルから数十メートルという限られた範囲での双方向通信を目的とした技術です。スタイリッシュでコンパクトなフルノのDSRC路側アンテナは、設置場所を選びません。また、フルノオリジナルのETC車載器と組み合わせることで、「車両」だけでなく、「利用者」を識別することもできます。



### 1 料金決済

コインパーキングなどで



駐車場管理システムと連携させることにより、車両の入出庫制御ができます。また、それらの場所でタイムリーにサービスメッセージを表示するようなシステムを構築することも可能です。

### 2 入出庫管理

マンションの駐車場などで



自宅マンションの駐車場ゲートがDSRC路側アンテナ装置によって自動的に開閉できるようになります。いわば、ETC車載器・DSRC車載器がセキュリティ機能をもった鍵になります。

### 3 顧客サービスの向上

ショッピングモールなどで



ショッピングモールや観光道路などにDSRC路側アンテナを設置して車両を識別。登録者の携帯電話などにメール配信するようなシステムを構築することもできます。

### 4 セキュリティ管理

物流倉庫などで



施設内の主要箇所にDSRC路側アンテナを設置し、車両の入退場を識別。セキュリティシステムと連携することで車両の動態管理にも応用できます。スムーズな車両入退により、出勤時の渋滞解消などにも役立ちます。



News!

# 間寛平さん、「アースマラソン」地球一周を達成!

2011年1月21日、マラソンとヨットだけで地球を一周する「アースマラソン」に挑戦されていた間寛平さんが、大阪で無事ゴールを迎えられました。当社はオフィシャルサプライヤーとして、寛平さんの約2年にわたる挑戦を応援し続けました。その活動の舞台裏を、アースマラソンの軌跡とともにご紹介します。



2009  
1/1~3/11  
太平洋横断

スタートから14日間で大阪~東京(計691.9km)を走破し、千葉県の大塚市へ到着した寛平さん。元マネージャーの比企啓之氏とともにエオラス号に乗り込み、ひたすらアメリカ大陸を目指しました。70日間で航海を終えた2人はカリフォルニア州のロングビーチに到着。上陸後、寛平さんはマラソンでニューヨークに向けて出発しました。

エオラス号に乗り込む寛平さん



ロングビーチに入港するため、GPSとAIS(自動船舶認識装置)により、大型商船の動向を確認



2009  
7/15~8/17  
大西洋横断

アメリカ大陸横断後、寛平さんはニューヨークから再び比企さんとともにエオラス号で出航。航海中、思うように風が吹かず、苦戦を強いられた2人でしたが、34日かけて、無事フランスのルアーブルへ到着しました。



航海前には、フルノの技術者も現地へ駆けつけ、メンテナンスや機器の操作説明を行いました



2010 2011  
12/27~1/4  
日本海横断

ユーラシア大陸を走破し、中国・青島から出港した寛平さんはヨット「時愛喜Ⅲ」で福岡市に帰港。2年ぶりに日本上陸を果たしました。「時愛喜Ⅲ」にもフルノのレーダーやGPSプロッタなどが搭載され、航海の安全に寄与しました。

船内に設置されたフルノの製品



寛平さん他船の動向をチェック

## 安全航海をバックアップしたフルノの製品

### FELCOM 50

衛星通信用のアンテナとして、電話はもちろん、テレビ電話、メール、ウェブ閲覧に使用され、寛平さんのチャレンジする姿を世界中へ届けました。



### FI-50シリーズ

風向風速計(FI-5001)とインストゥルメント(FI-501)の組み合わせでヨットを操船するのに必要な風の向きや速度を正確に追い、エオラス号を目的地までリードしました。



### NavNet 3D

GPS、レーダー、水深、気象情報など、航海に必要なさまざまな情報を一台に集約。特に夜間や濃霧、荒天時にはエオラス号の「目」となり、安全航海をサポートしました。



### FM-8800S

国際航海に必須となるのが国際VHF無線機です。各国の型式検定基準にも合致した当機は、受信音声が明瞭な大型スピーカーを内蔵しており、クリアな音質で通信できます。



### 寛平さんがフルノ本社に! 歓迎イベントを実施

寛平さんが古野電気の本社(兵庫県西宮市)に来社されたのは、ゴール前日の1月20日(木)正午。当社前で大勢の社員がつくる花道に迎え入れられ、ゴールテープを切られました。報道陣の取材を終えたのち、寛平さんは当社の社内歓迎イベントに出席。軽妙なトークとギャグで、会場は大いに盛り上がりました。

航海中はいろいろ大変なこともありましたが、フルノさんの協力のおかげで安心できました。それにしても、行く先々の港で「FURUNO」のロゴがついた船ばかり目にし、世界のフルノを実感しました!



©間寛平アースマラソン製作委員会

総移動日数 766日、総移動距離 41,040km、  
通過国 18カ国…寛平さん、本当にお疲れ様でした!!

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2010年2月28日現在	2011年2月28日現在
流動資産	58,708	55,054
固定資産	18,592	17,757
有形固定資産	10,389	9,478
無形固定資産	1,063	1,449
投資その他の資産	7,139	6,829
<b>資産合計</b>	<b>77,301</b>	<b>72,812</b>
流動負債	28,537	24,316
固定負債	14,638	14,991
<b>負債合計</b>	<b>43,176</b>	<b>39,307</b>
株主資本	36,695	36,935
資本金	7,534	7,534
資本剰余金	10,074	10,074
利益剰余金	19,265	19,505
自己株式	△178	△179
評価・換算差額等	△2,990	△4,714
少数株主持分	420	1,283
<b>純資産合計</b>	<b>34,125</b>	<b>33,504</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>77,301</b>	<b>72,812</b>

※連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当について

当社は、株主の皆様への配当を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、利益状況に応じて、企業体質の一層の強化ならびに将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を勘案しつつ、安定した配当を行うことを方針としております。当期の期末配当金につきましては、1株当たり2円50銭とさせていただきます。これにより、中間配当金の1株当たり2円50銭と合わせ、年間配当金は、1株当たり5円の配当となります。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2009年3月1日から2010年2月28日まで	2010年3月1日から2011年2月28日まで
売上高	85,070	73,724
売上原価	60,014	50,042
売上総利益	25,056	23,682
販売費及び一般管理費	23,896	22,444
<b>営業利益</b>	<b>1,159</b>	<b>1,238</b>
営業外収益	524	563
営業外費用	706	446
<b>経常利益</b>	<b>976</b>	<b>1,354</b>
特別利益	499	305
特別損失	388	580
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,088</b>	<b>1,080</b>
法人税、住民税及び事業税	438	458
法人税等調整額	3,829	102
少数株主利益	30	175
<b>当期純利益(損失)</b>	<b>△3,210</b>	<b>343</b>

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2009年3月1日から2010年2月28日まで	2010年3月1日から2011年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	567	4,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,193	△1,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,544	△1,191
現金及び現金同等物にかかる換算差額	78	△816
現金及び現金同等物の増減額	△1	979
現金及び現金同等物の期首残高	11,813	11,812
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	16
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>11,812</b>	<b>12,807</b>

株式の状況 (2011年2月28日現在)

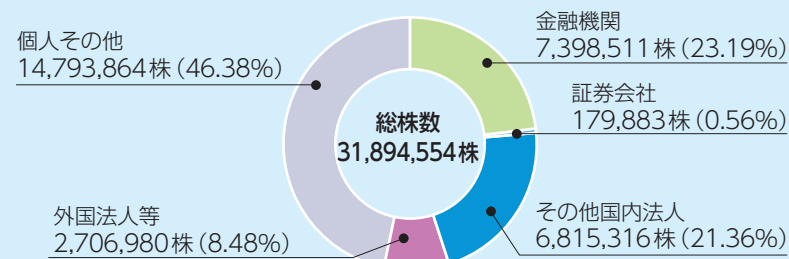
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,894,554株
株主数	5,550名

大株主の状況 (2011年2月28日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
古野興産株式会社	4,697	14.89
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱東京UFJ銀行	992	3.15
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口	942	2.99
再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	939	2.98
古野清孝	932	2.96
古野電気取引先持株会	732	2.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	631	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	600	1.90
古野清賢	560	1.78
エコ興産有限公司	560	1.78

※持株比率は、自己株式350,137株を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2011年2月28日現在)



※個人その他には、自己株式・350,137株(1.09%)を含んでおります。

会社概要 (2011年2月28日現在)

社名	古野電気株式会社
英文	FURUNO ELECTRIC CO., LTD.
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
電話番号	0798-65-2111(代表)
資本金	7,534,542,650円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	2,815名(連結) 1,730名(個別)
生産/研究開発拠点	三木工場・フルノINTセンター・西宮事業所
国内販売拠点	兵庫・北海道・青森・宮城・千葉・東京・石川・静岡・愛知・三重・和歌山・鳥取・広島・山口・徳島・愛媛・高知・福岡・長崎・宮崎・鹿児島・沖縄
海外拠点	アメリカ・デンマーク・フィンランド・ギリシャ・オランダ・スペイン・フランス・イギリス・ノルウェー・ロシア・スウェーデン・ポーランド・ドイツ・中国・シンガポール

役員 (2011年5月26日現在)

代表取締役社長	古野幸男
専務取締役	森博行
常務取締役	飯野博司
常務取締役	小池宗之
常務取締役	井澤亮三
取締役	和田豊
取締役	石原眞次
取締役	矮松一磨
取締役	岡本達行
常勤監査役	坂井讓
社外監査役	吉本健一
社外監査役	小美野廣行